

野木町 議会 だより

第118号

平成29年8月1日

議会新体制 はじまりました！



平成29年5月臨時会で正副議長改選！

議会人事の改選	・・・	②～③
議案の審議	・・・	④～⑥
シリーズ「議会のおしごと」	・・・	⑦
一般質問	・・・	⑧～⑯
特集「政務活動費」	・・・	⑰
賛否の分かれた案件	・・・	⑱

野木町議会の新体制がスタート



【副議長】
黒川 広

ひろし



【議長】
鈴木 孝昌

たか
よし

平成29年5月17日に第2回議会臨時会を開催し、正副議長の選挙、各常任委員・議会運営委員・小山広域保健衛生組合議員の指名、監査委員の選任など、議会人事の改選を行ない、野木町議会の新体制がスタートしました。

◆議長就任あいさつ◆

平成29年第2回臨時議会におきまして、議長に就任致しました鈴木でございます。

身に余る光栄とともに、責任の重さを痛感し身の引き締まる思いであります。

さて、私の座右の銘は、「継続は力なり」です。

この格言の真意は、一途に先例を踏襲すべきと唱えているだけではなく、歴史や伝統を守りつつ、適宜見直しを積み重ねることと理解します。

今後は議会議長として、諸先輩議員から受け継いだ伝統、なかならず信頼と実績を堅持し、議会基本条例の検証やこども議会の開催、予算・決算審議方法の検証等、時流に沿った議会運営を推し進める所存です。

安全・安心で魅力あふれるまちづくりを目指すと共に、生まれ育った郷土を子や孫の世代へと引き継ぐべく、「人を育（つく）る・まちを造（つく）る・未来を創（つく）る」をモットーに、議長職を全うしていく覚悟です。

町民の皆様におかれましては、引き続き議会に対するご支援・ご協力を賜りますようお願い致します。



各委員会の構成メンバー

(◎委員長 ○副委員長)

総務経済 常任委員会 (定数7人)



【後列】・小杉史朗・宮崎美知子・柿沼 守・鈴木孝昌・館野孝良
【前列】 ◎折原勝夫 ◎針谷武夫

文教民生 常任委員会 (定数7人)



【後列】・野本新一・坂口進治・長澤晴男・眞瀬薫正・黒川 広
【前列】 ◎小泉良一 ◎松本光司

議会運営 委員会 (定数6人)



【後列】・小泉良一・針谷武夫・黒川 広・宮崎美知子
【前列】 ◎館野孝良 ◎眞瀬薫正

小山広域保健衛生組合
議会議員

小山市、下野市、上三川町、野木町の2市2町で設置され、ごみ処理・し尿処理を共同処理する事務組合の議会議員

・黒川 広 議員
・眞瀬 薫正 議員

栃木県南公設地方卸売
市場事務組合議会議員

小山市、栃木市、下野市、壬生町、野木町の3市2町で組織され、青果・水産物等の卸売市場の設置及び管理運営に関する事務を共同処理する事務組合の議会議員

・小泉 良一 議員

※当該施設の民営化に伴い、平成29年9月30日をもって組合が解散となるため、残任期間について留任。

野木町監査委員

例月出納検査や決算監査など、町の財務に関する監査や住民監査請求に関する審査を行なう委員

・眞瀬 薫正 議員

平成29年 6月定例会(6月7日～14日)の議案審議結果

条例の制定や平成29年度一般会計補正予算などを議決しました。

議案番号	件 名	賛成・反対	議決結果
第 1 号	野木町中小企業・小規模企業の振興に関する条例の制定	賛成多数	可決
第 2 号	野木町個人情報保護条例等の一部を改正する条例	全員賛成	可決
第 3 号	野木町学童保育室条例の一部を改正する条例	全員賛成	可決
第 4 号	平成 29 年度野木町一般会計補正予算（第 1 号）	全員賛成	可決
第 5 号	平成 29 年度野木町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成	可決
第 6 号	平成 29 年度野木町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成	可決
第 7 号	業務委託に関する協定の締結（野木第二工業団地関連道路整備）	全員賛成	可決
第 8 号	栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更	全員賛成	可決
第 9 号	財産の貸付（県南卸売市場民営化による共有持分財産貸付）	全員賛成	可決
第 10 号	小山市への栃木県南地方卸売市場に関する事務の委託	全員賛成	可決
第 11 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成	可決
第 12 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成	可決
第 13 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成	可決
第 14 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成	可決
第 15 号	野木町中小企業・小規模企業の振興に関する条例の制定	全員賛成	可決
第 16 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成	可決
第 17 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成	可決
第 18 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成	可決
第 19 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成	可決
追加議案 第 1 号	平成 29 年度野木町一般会計補正予算（第 1 号）	全員賛成	可決
追加議案 第 2 号	平成 29 年度野木町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成	可決
追加議案 第 3 号	契約の締結（野木中学校屋内運動場天井等改修工事）	全員賛成	可決
陳 情	件 名	賛成・反対	議決結果
陳 情 第 1 号	県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情	賛成少数	不採択

※議案第11号から第19号までは1件1名で9名の委員の選任を取り扱うため、個別の案件として審議しました。

平成29年 5月臨時会(5月17日)の議案審議結果

専決処分の承認および監査委員の選任同意を審議しました。

議案番号	件 名	賛成・反対	議決結果
第 1 号	専決処分手項の承認を求めることについて	全員賛成	了承
追加議案 第 1 号	野木町監査委員の選任につき同意を求めることについて	賛成多数	可決

総務経済常任委員会へ付託
された議案の審議

条例の制定

野木町中小企業・小規模企業
の振興に関する条例

中小企業・小規模企業の振興に
関し、基本理念を定め、町の責務等
を明らかにすると共に、中小企業・
小規模企業の振興に関する施策の
基本となる事項を定め、中小企業
等の振興に関する施策を総合的に
推進するため、本条例を制定する。

討 論

(反対)

坂口 進治 議員

野木町の中小企業・小規模企業
にとっては朗報といえる条例であ
ると言えるが、本条例の制定にあ
たり、町の企業の実態調査を行っ
ていないので、対象になる業者も
把握できていない。

まして運用についての審議会の
設置などの計画もされておらず、
瑕疵のある条例制定と言わざるを
得ません。

今後町の財政ひいては町民の生
活まで関わってくる案件です。
県または他の市町村が制定したと
の理由だけでは町民の納得が得ら
れるとは思われません。

業務委託に関する協定の 締結

野木第二工業団地に隣接する町
道(関連道路)の整備にあたり、当
該団地の開発を請け負っている県
土地開発公社へ委託するための協
定を締結するものである。



本会議において審議した議案

条例の一部改正

野木町学童保育室条例の一部
を改正する条例

学童保育を必要とする家庭の増
加に伴い、現在3つある新橋学童
保育室に新たに新橋学童保育室4
を追加し、南赤塚学童保育室を南
赤塚学童保育室1と2に分割する
ため、本条例等の一部を改正する。

補 正 予 算

一般会計(第1号)

予算に909万5千円を追加
し、総額を78億7909万5千円と
する。

これは、年度当初の人事異動に
伴う嘱託員等人件費の組み換え、
および、農業集落排水事業特別会
計への繰出金の増(204万円)に
よるものである。

一般会計(第2号)

予算に1092万1千円を追加
し、総額を78億9001万6千円
とする。

これは、予定納税されていた法
人町民税の税額確定により発生し
た町税還付金及び還付加算金の増
(985万円)、農業集落排水事業
特別会計への繰出金の増(107
万円)によるものである。

※この議案は、最終日に追加議案
として上程・審議されました。

国民健康保険特別会計 (第1号)

予算に86万5千円を追加し、総
額を35億9593万8千円とす
る。

これは、法令等の改正により前
期高齢者納付金として保険者(町)
の費用負担が増えたことによるも
のである。

農業集落排水事業特別会計 (第1号)

予算に203万5千円を追加し、総額を6684万4千円とする。

これは、川西地区中継ポンプ場の緊急通報装置の改修工事が発生したことによる増である。

農業集落排水事業特別会計 (第2号)

予算に106万7千円を追加し、総額を6791万1千円とする。

これは、補正第1号による川西地区中継ポンプ場の緊急通報装置の改修工事について、追加工事が発生したことによる増である。

※この議案は、最終日に追加議案として上程・審議されました。



文教民生常任委員会へ付託された案件の審議

陳 情

県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情

県内公立高等学校の選抜試験において欠員補充のための再募集（二次募集）実施を求める意見書の提出を求めるもの。

討 論

(賛成)

宮崎 美知子 議員

陳情は、県教育委員会は県立高校入学選抜で定員割れとなった場合、定員を満たすための再募集を実施してほしいというものだ。

『子どもの貧困』が社会問題化されている。家庭の事情で県立高校にしか入学できない15歳は県内でも少なくない。再募集は、『教育の機会均等』にも適う。

補充募集の未実施は全国で4

県。未実施の理由として県教育委員会は、①特色選抜、②一般選抜、③定時制受験、④通信制受験の受験機会を十分に与えているとの強い認識があるようだ。然し、特色選抜の類は他県でも行っており、また、全日制の一般選抜と定時制受験等を一人の生徒の受験機会と捉えることにも無理があるのではないか。

討 論

(反対)

小杉 史朗 議員

本日(6月14日)の下野新聞によると、急速に進む少子化を見据え、県教委が県立高校再編の策定に着手したと報じている。私はこの対応を高く評価する。

さて、一般の陳情の骨子は、少子化に伴い定員割れとなった高校は二次募集をかけても残すべしとのことだが、私はこの考え方には賛同しかねる。若者を甘やかすだけだからだ。もとより、高等教育は生徒・学校双方に「選ぶ権利」が与えられている。だから入試が存在する。厳しい入試、厳しい学業を克服してこそ若者は成長する。

平成29年度議会報告会を開催します

本年度は10月29日(日)役場新館2階大会議室で開催致します。

毎年、多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

今回も多くの方々にお越しいただき、議会情報の提供や皆さまとの意見交換を行いたいと思いますので、是非とも皆様お誘い合わせのうえ、ご参加下さい。

※開催内容などの詳細は、あらためてご案内いたします。

高等教育とは、まさに競争の世界であり、競争を失った高校は淘汰されても仕方がないと思うのがいがかが。

シリーズ 「議会のおしごと」 ①

○議会はどんな仕事をしているんだろう？難しい言葉が多くて分かりづらい…

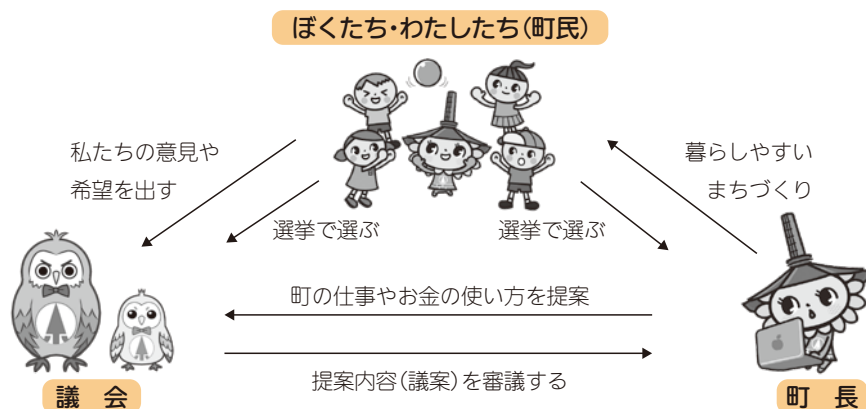
議会は何をすること？



私たちの住む町の道路設置や管理、学校の運営、お年寄りや身体が不自由な人のための福祉施策、こどもの医療費助成など、私たちの生活に身近な仕事をしている行政機関(地方公共団体)が「野木町」です。

こうした身近な問題は、自分たち自身で話し合い解決することが一番ですが、町民全員で話し合うことは困難です。

そこで、町民の代表者を選挙で選び、代表者たちで町の仕事やお金の使い方を決めることとしています。この決定機関を「町議会」と言います。



議会はいつ開催されるの？

議会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催される「定例会」のほか、急を要する重要な案件を審議する「臨時会」の2種類があります。

議会で何を話し合うの？

議会は町長から提案される町の仕事に関するルール(条例)やお金の使い方(予算)などの重要な事案(議案)の良否を判断(議決)します。

また、議場での話し合い(本会議)だけでは判断できない重要な問題は、常任委員会という組織に付託し、議案内容を掘り下げて検討します。

常任委員会は何をすること？

野木町議会には「総務経済常任委員会」と「文教民生常任委員会」という2つの常任委員会があり、各議員が分野ごとに分担し、本会議で付託を受けた議案の審議や町の仕事のあり方について調査研究をする組織です。

また、議会には常任委員会のほか、議会の運営や議会改革を検討する「議会運営委員会」という組織もあります。

議場で本会議を見られるの？

議場には傍聴席が用意してあります。

役場本館3階の議会事務局で受付後に本会議を傍聴できますので、是非お越しください。



小泉 良一 議員

問

子供たちのスポーツ推進について伺う

答

幼保小の連携と体育の授業や部活動により伸ばしていきたい

問 小中学生の体力、運動能力の実態について

答 文部科学省では、小学校5年生と

中学校2年生の児童・生徒全員を対象に、全国体力・運動能力調査を行っています。小学校5年生で下回っていた多くの項目において中学生では、全国、栃木県とも平均を上回る結果となっています。

問 現在の体力、運動能力向上の取り組みについて

答 小学生においては、基本的な生活

習慣の中で心身ともに健康であることが重要であり、その考えのもとでの体力づくりに取り組むことがたいせつであると思っています。

問 小5で下回っていた握力とソフトボール投げは、中2で上回ったと聞きましたが、どの程度上回ったのですか。



体育の授業や部活動で飛躍的に体力増進を達成

答 握力は男子が19位から3位に、女子は24位から4位になりました。

また、ソフトボール投げは、中学校ではハンドボール投げに変わり、結果は、男子が20位から1位、女子が24位から2位になりました。

した。

問 スポーツ推進の課題とその解決のための方策について

答 日常生活の中で鍛えられた行為が減ってきた

問 部活動指導員について

答 部活動指導員は、校長の監督のもと単独で技術指導や生徒の引率、大会での監督ができるものです。部活動の専門職員という位置づけになるわけです。

質問事項

- ・子供たちのスポーツ推進について
- ・生活保護について



針谷 武夫 議員

問

オリンピック・パラリンピックに向けた観光戦略について伺う

答

地域経済の活性化や野木町の魅力を広く発信していく

問 外国人観光客の受け入れ体制について伺います。

答 煉瓦窯では、ガイド案内として、昨年

木町の良さを海外の方にPRして戴くチャンスと考えます。特に煉瓦窯はドイツ人の設計者ホフマン氏との関係から、ドイツの方を野木町に訪問させるような考えはあります。

答 ドイツとの交流ということで、ゆくゆくは友好都市というようなことも視野に入れて進めているところです。野木町にドイツのお客様を迎えられると言えることも考えの一つです。

問 避難訓練時の放送が明確に伝わらなかった原因は何か。

答 防災無線の設置数を計画的に設置するとともに、音声や音量を調整することで、正確な災害情報を地域住民に伝達出来るよう対応してまいります。

答 あと10基程度は必要になるんではと考えています。音達状況を確認しながら整備させていただければと思っています。

答 煉瓦窯では、ガイド案内として、昨年

から英語によるボランティア要請講座を実施、受け入れ態勢の強化を図っています。町職員も英会話力を着けていただくよう勉強会を考えているところです。

問 オリンピックは国際交流の場であります。野木町煉瓦窯をはじめ、野



防災無線の充実を求める

問 最終的には野木町は何基の防災無線をつけられるのか。

問 町民の災害に対する自助努力と防災無線との関わりは、どのように考えているのか。

答 災害時には「自助」「共助」「公助」が互いに連携し被害を最小限に食い

質問事項

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック開催への対応について
- ・防災無線について



折原 勝夫 議員

問

野木町賛歌「ふれあいの町」を野木駅の発車メロディーにしては、どうでしょうか？

答

JRとよく協議して、費用等を含め今後検討して行きたいと思っています

問 今年2月に、ほぼ全線開通した圏央道が、本町に及ぼす影響について伺います。

答 平成32年度完成を目標に現在、古河市と鋭意努力して事業を進めております。

答 首都圏や成田空港からのアクセス性の向上により、企業の進出や観光客の増加に一層弾みがつき、経済波及が期待できると思っています。

問 圏央道を利用する上で、圏央道につながる新4号国道への本町からのアクセス道路の整備状況について伺います。



自由通路を活用した町のPRを！

問 町の玄関口、野木駅を活用した町のPRについて伺います。

まず、駅自由通路の北側のガラス窓を大きなキャンバスに見立てて、野木町を代表するレンガ窯、ひまわり、フクロウ等を描くのです。改札を出て自由通路に向かうとき、一目で野木町をイメージ

できるような絵が、視界に入るのは、どうでしょうか？
また、役場本館入口にあるような、本町で生産される工業製品や特産品、町ブランド品を陳列するコーナーを作ってはどうか？

答 野木町の農業を売り出すということですので、これから研究していければと思います。

答 町長も町の特産品のトマト等の農産物のトップセールスを行っては、いかがでしょうか？

答 印刷して、野木町をPRしていただくというのも非常に結構なことだと思いますので、よろしくお願ひします。

答 今後、JRと協議して、検討して行きたいと思っています。

問 毎年、本県の福田知事は、「いちご王国とちぎ」の国王と称して、本県産イチゴのトップセールスを行っております。

問 トマト等の農産物の出荷包装資材に町のゆるキャラ「のぎのん」を印刷し、全国にPRしたらどうでしょうか？

質問事項

- ・圏央道全線開通が本町に及ぼす影響について
- ・町活性化のPR活動について



坂口 進治 議員

問

パブリックコメントの実施方法と町民意見に対する取り組みについて

答

町が作成した計画や条例等をホームページ等で公表し意見は計画等に反映させる

問 パブリックコメントの実施方法と町民意見に対する取り組みについて。

答 パブリックコメントは、町の重要な計画・条例等立案する際にその内容を公表し、町民の皆様から意見の提供機会を設け、寄せられた意見を考慮に入れながら最終的な意思決定を行うとともに、意見の概要それに対する町の考え方を公表する一連の手続きのことです。

条例等を町のホームページ等で公開し、寄せられた意見は、計画等の立案に反映させる形で修正する場合

や、参考意見としてとどめる場合があります。最終的には、すべての意見の概要と、それ

に対する町の考え方や、参考意見としてとどめる場合があります。を公表します。

平成24年度の制度導入以来、現在まで27案件実施、うち17件の案件について、延べ31名の方より323件の意見をいただき、そのうち130件については加筆修正しました。

計画及び野木町自治基本条例の制定に向けて、平成26年10月に実施したものがありません。

結果的には三千件抽出し千百九十八件の回答をいただき、回収率は40・04%でした。

問 町民アンケート調査の実施方法と集計結果の施策への反映について。

答 包括的な町民アンケートとしては、第8次野木町総合

計画及び野木町自治基本条例の策定内容に反映していく目的で実施しました。目的としまして、町民が町に対してどのような施策や事業の展開を望んでいるのか、住まいの地区の課題や実情、どういった施策に参画し、活動していきたいかなどを伺い、総合計画及び自治基本条例の策定内容に反映していく目的で実施しました。

質問事項

- ・町の施策に対する町民の意識調査について



築 70 年になる野木町郷土資料館



野本 新一 議員

問

答

浸水想定地域における対策等、教訓を生かした「これからの地域防災」について

川西地区の防災拠点整備、思川左岸の堤防築堤、思川の掘削等、国土交通省に要望している

問 住民に対する防災知識の普及について伺います。

答 町民の防災知識向上のため、国や県の協力を得て、「防災講座」を実施していきたい。

自主防災組織の設立について、引き続き支援体制を整えていきたい。

全町避難訓練についても実施内容を十分検討し、充実させ、避難体制の整備、町民への啓発に努めていきたい。



今年度より独自実施している水防訓練

問 5月は水防月間です。町が取り組んだ講演会、イベント

答 水防関係のイベントは、実施していない。6月号の広報で、カスリーン台風70周年の洪水等に対する心構えの啓発を行いました。

また、今年度からは、野木町独自で水防訓練を行うことになりました。

等についてお聞きします。

6月中に実施する予定です。

問 野木町の「浸水想定地域」における対策について伺います。

答 国土交通省の新たな情報に従い、速やかに洪水ハザードマップを改訂し、町民に周知していきたいと考えています。

松原大橋北側、逆川河岸付近に、CCTV水位計測システムを整備し、水位をライブ映像で監視できるようにしました。

町でも川西地区防

防災拠点整備に係る測量業務を実施しました。

国と協議して、この整備に当たりたいと思っています。

逆川排水機場につ

いては、雨水ポンプエンジン改修を今年度3台すべて終了します。

今後の改修計画各々のストックマネジメント計画を平成30年度中にまとめ、次年度以降、整備計画を決定したいと思っています。

質問事項

- ・地域防災について
- ・ボランティア活動とコミュニティービジネス活動による野木町の活性化について



柿沼 守 議員

問

平成29年度予算、公園施設長寿命化計画策定業務委託料1650万円について伺う

答

29年度に予備調査及び健全度調査、緊急度の判定業務を実施、策定は30年度に行う

問 平成29年度予算、公園施設長寿命化計画策定業務委託料1650万円の内容について。

に縮減できると思うが如何。

答 契約された業者と職員で密な打ち合わせを行い、より良い計画書作成に努めてまいります。

答 平成29年度の予備調査は、対象となる公園施設を現地で公園施設の利用状況、劣化や損傷の状況把握をします。

問 公園施設長寿命化計画は、業者任せにしないで、公園の設備状況を熟知している職員の英知を結集して、この計画書作成に当たれば1650万円の予算が大幅

に縮減できると思うが如何。

問 小山市では、平成23年度に159カ所の公園で、設計委託料予備調査予算、1430万円が決算は12%の170万円で完了しています。参考にすべきです。

丸林中央公園の整備について、地元の意見を取り入れる委員会方式を提案します。

庁舎内部に緑の再生計画検討委員会があります。今後の検討課題としたい。

答 「自転車活用推進法」が成立しました。

利用し易くする「自転車のまち・のぎ」の推進について。

問 「自転車活用推進法」の理念にのっとり、野木町にあった自転車を活用した健康づくりの一環として、

自転車をより一層



野木駅西口レンタサイクルの活用

答 「自転車活用推進法」の理念にのっとり、野木町にあった自転車を活用した健康づくりの一環として、

新設道路や改良道路に財政措置があるので、自転車が利用し易い安全な道路づくりを検討します。

問 高齢者の自転車免許証返納者に支援策として、電動アシスト自転車購入費用の補助を

て普及啓発します。

してはどうですか。

答 道路環境の整備を考慮しながら、調査研究したい。

質問事項

- ・公園施設長寿命化計画について
- ・昨年末「自転車活用推進法」が成立しました。自転車をより一層利用し易くする、「自転車のまち」について



松本 光司 議員

問

緊急通報装置の普及推進策として、制度の見直しを求めます

答

設置費の無償化を検討します。また、対象者は重度身体障がい者の方も考えます

問 緊急通報装置の稼働状況を伺います。

答 65歳以上のひとり暮らし及び高齢者のみの世帯並びに日中独居老人の方が対象に、緊急通報装置を貸与しています。

平成28年度の通報受信は延べ284件、救急車の対応は8件、相談件数は59件。

問 今後、緊急通報装置が必要な高齢者が増えるので、普及推進の取り組みを伺います。

必ず、月1回の安否確認が行われます。

問 普及推進策として、設置費の無償化。

さらに、重度身体障がい者の方も対象者になるよう、制度の見直しを求めます。

方も考えます。

また、1歳6ヶ月健診時の安全な「曲がるハブラシ」のプレゼントは、検討課題とします。

問 乳幼児の事故予防策として、「ヒヤリハットジオラマ」の設置を求めます。

また、歯ブラシを口にくわえたまま転倒しても喉の奥に刺さらない、「曲がる歯ブラシ」の配布を提案します。

平成29年3月末現在で、145台稼働しています。

問 緊急ボタンで通報された、救急車の出動回数と介護や健康に関する相談件数を伺います。



緊急通報装置の普及推進を求む

答 緊急通報装置に實際触れて操作すること、本体の実用性を実感してもらい、拡大に努めます。

今後、高齢者等に優しいまちづくりを促進するため、緊急通報装置の利用者拡大を図ります。さらに、町の安全体制の確保のためにも、来年度は設置費の自己負担1080円の無償化を検討します。

また、対象者は現在の高齢者のみでなく、重度身体障がい者の

答 「ヒヤリハットジオラマ」

は、野木町総合サポートセンター内の配置計画等を調整しながら検討します。

質問事項

- ・高齢者の日常生活の見守り体制について
- ・認知症の徘徊対策について
- ・乳幼児の家庭内事故対策について



宮崎 美知子 議員

問

答

飯塚市の望楼・庁舎解体は3900万円、望楼解体のみの野木町は5500万円 高すぎる

福岡の方は福岡の方の実情もある 工程も場所によって変わってくる ご理解を

問 公民館改修工事と望楼解体工事について

答 29年度の望楼解体工事は、ワイヤーソーイング工法

147カット、発生材処分109・5㎡と解体部補修である。30年度の屋上防水工事は、塩化ビニールシート厚さ1.5mm、1250㎡を施工する。31年度の公民館内外部改修工事は、外壁のひび割れ補修と外壁洗浄1756㎡。各室のひび割れ補修と洋式トイレ化です。追加協議で、トイレ・調



解体・撤去される野木町公民館望楼

理室床をドライ式にし、授乳室を設置します。

問 町は、26年8月の全協で、望楼解体工法について3案を

答 2千万円は直接工事費のみで、仮設費、処分費、経費等は含まれていません。

問 諸々の間接経費を含まない『概算工事費』はありません。福岡県飯塚市は26年度に高さが野木町望楼の2倍の27m、面積は50倍の望楼がそびえる庁舎の

示し、最良の工法の概算工事費を2千万円と説明したはずですが、

茨城県常総市は23年度に、野木町公民館と同規模の庁舎と望楼の解体工事を実施しました。頂上部の四方ガラス張りの展望室の撤去費500万円を含む総額は6500万円でした。

対する野木町は望楼解体だけで5500万円。血税を無駄に使っていいのでしょうか。ワイヤーソーイング工法で行う解体費があっちこっちでそ

んなに違うということとは考えられません。こういうことをやっているのではありませんか。

答 町は、26年度に金をかけ作成した耐震計画を自らごみ箱に捨てたようなものではないでしょうか。

答 福岡の方は福岡の方の実状もあります。工程も場所によって変わってきます。今回、国監査はありませんが、そういうことを

質問事項

- ・公民館改修工事及び望楼解体工事について



館野 孝良 議員

問

「水と緑と人の和でうるおいのある町」について、
町長の基本的な考えを伺う

答

緑を守る姿勢はとり続けていきたい

問

野木町は「水と緑と人の和でうるおいのある町」を町の将来像に掲げています。「キラリ野木プラン」の基本目標の一つにもなっています。町長も日頃から緑を守る

に沿って、守っていくべき緑はきちんと守りたいと思っています。しかし、工業団地の造成や太陽光発電、宅地開発も進んでいます。そのような中で、町の将来性を考えた財政の基盤づくりのためには、メリハリをつけた計画をしたい。

問

町内ではこの3年間で約6ヘクタールの平地林が伐採され、太陽光パネルの設置が急増しています。

残していくために、太陽光パネル設置に関する条例について、近隣市町の状況を見ながら、調査、研究、検討したい。

問

町営墓地の工事がまもなく完了しますが、当初の計画と大きく変わった墓地になりました。修正動議や堆肥センターの解体、南側からの取り付け道路の整備など、外観も含め、当初イメージと大きく違ってしまいました。

問

町民憲章でも町は緑を大切にするとしています。金沢市では「緑の都市宣言」を議決しています。野木町ではどうでしょうか。

答

非常によい提案だと思うので、「緑の再生計画検討委員会」の議題に乗せることも考えます。

答

全体的な総括としては、

答

「野木町緑の基本計画」の基本方針



山林を伐採して設置された太陽光パネル

答

自然環境として重要な平地林を少しでも多く

通告書による質問項目

- ・水と緑と人の和でうるおいのある町について
- ・町営墓地について

特集「政務活動費」

議会議員は本会議（定例会や臨時会）、委員会活動などの議会としての組織活動以外に、政策研究や議案審議のために必要な情報集などを議員個人が調査研究を行ないます。

これらの活動経費を助成するために「政務活動費補助金」として町から活動補助を受けています。



政務活動費ってなあに？

議員活動として町の事務、地方行政等に関する調査研究（視察を含む）及び調査委託等に要する経費です。



経費は町から補助されるの？

以下のような経費については、年額12万円を上限に政務活動費補助金の対象として助成されます。

- 調査研修費：議員が行う研修会、講演会等の実施（共同開催を含む。）に要する経費
- 研修費：団体等が開催する研修会（視察を含む。）、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費
- 広報・広聴費：議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
- 要請陳情等活動費：議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
- 会議費：① 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費
② 団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
- 資料作成費：議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
- 資料購入費：議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
- 事務所費：議員が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費
- 事務費：議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
- 人件費：議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費



補助金はいくらなの？

1名あたり月額1万円（年額12万円）を年度当初に一括交付されますが、充当金額（実績額）が年額に満たない場合は、その差額を返納することとなります。

野木町議会議員政務活動費補助金実績一覧（平成28年度）

（単位：円）

	調査研修費	研修費	広報・広聴費	資料作成費	資料購入費	事務費	計	補助金返納額
宮崎美知子	26,916		10,728		97,452		135,096	0
眞瀬 薫正	79,294				42,900		122,194	0
小杉 史朗	94,090				36,420		130,510	0
館野 孝良	79,294				41,424		120,718	0
長澤 晴男	79,294				36,420		115,714	4,286
柿沼 守	25,316	17,460	6,241		54,059		103,076	16,924
坂口 進治	25,316				33,576	79,799	138,691	0
黒川 広	79,294		10,800		36,420		126,514	0
折原 勝夫	79,604				42,592		122,196	0
野本 新一	18,840		47,415	9,906	44,019		120,180	0
鈴木 孝昌	79,604	40,000				4,669	124,273	0
松本 光司	113,244				9,105		122,349	0
針谷 武夫	79,604				31,476		111,080	8,920
小泉 良一	79,294				45,444		124,738	0

※ 表内の合計額は補助金を充当した経費の実績で、充当していない経費を含みません。

各議案に対する賛否（議長を除く）

（賛否の分かれた案件のみ記載しています。他の案件は全員賛成で可決されました。）

議案等	宮崎美知子	眞瀬薫正	小杉史朗	館野孝良	長澤晴男	柿沼守	坂口進治	黒川広	折原勝夫	野本新一	松本光司	針谷武夫	小泉良一	賛成	反対	採決結果
平成29年6月定例会																
野木町中小企業・小規模企業の振興に関する条例の制定	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	11	2	可決
県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	4	9	不採択
平成29年5月臨時会																
野木町監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	11	2	可決

※表内の○は賛成、×は反対、△は離席による採決不参加

主な議会スケジュール

4月～6月の活動記録

- 4月 1日 第3回野木町さくらまつり
- 2日 平成29年度野木町消防団辞令交付式
- 3日 交通安全早朝街頭啓発活動
- 14日 議会全員協議会
- 5月 1日 交通安全早朝街頭啓発活動
- 9日 議会運営委員会、議会全員協議会
- 17日 議会運営委員会、議会全員協議会
- 20日 第2回野木町議会臨時会
- 23日 野木町煉瓦窯1周年感謝祭
- 26日 議会運営委員会
- 26日 栃木県町村議会議長会正副会長会議
- 30日 議会全員協議会
- 31日 全国町村議会議長会議長副議長研修会
- 6月 5日 交通安全早朝街頭啓発活動
- 7日 第2回野木町議会定例会（～6月14日）
- 23日 栃木県町村議会議長会議長会議・研修会
- 25日 平成29年度野木町消防団夏季点検

7月～9月の活動予定

- 7月 3日 交通安全早朝街頭啓発活動
- 11日 長野県上田市議会視察対応
- 12日 栃木県町村議会議員共済会代議員会
- 19日 議会全員協議会
- 福島県小野町視察対応
- 28日 ひまわりフェスティバル（～30日）
- 8月 2日 交通安全早朝街頭啓発活動
- 3日 栃木県議長会市町村トップセミナー
- 28日 議会全員協議会
- 9月 4日 交通安全早朝街頭啓発活動
- 7日 第4回野木町議会定例会（会期末定）

※活動予定は編集時現在の日程を記載しておりますので、変更・追加されることがあります。



《編集発行 議会だより編集委員会》

委員長 折原 勝夫 副委員長 野本 新一
委員 小杉 史朗 委員 宮崎美知子
委員 坂口 進治 委員 松本 光司

〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町丸林571
TEL 0280-57-5106 FAX 0280-57-4190
E-mail: gikaijimukyoku@town.nogi.lg.jp



本会議を傍聴しませんか？
次回の定例会は9月7日
から開催予定です。

＊編集後記＊

新しい編集委員による新しい「議会だより」ができあがりました。
シリーズや特集、新たなページを加え、誌面に変化をつけてみました。
「手にとってもらえる」「読んでもらえる」「親しみを持ってもらえる」「町民の皆様と議会との架け橋となる一冊を作りたい」。
そんな思いでこれからも誌面づくりに挑戦して行きたいと思います。
皆様の「議会だより」に対するご意見ご感想をお待ちしております。

議会だより編集委員長 折原 勝夫